NEWS RELEASE

平成 26 年 10 月 6 日

各　　位

会　　社　　名　株式会社フライトホールディングス
代表者の役職氏名　代表取締役社長　　片　山　　圭　一　朗
（コード番号:3753 東証マザーズ）
問い合せ先　代表取締役副社長　　松　本　　隆　男
金(こん)　浩　樹
電　話　番　号　03-3440-6100（代）

# Incredist導入事例 ソフトバンクモバイル株式会社様 ～iPadと連携 PCを全廃し店舗業務を改革～

子会社の株式会社フライトシステムコンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一朗）のマルチ決済装置「Incredist（インクレディスト）」の導入事例を添付の通り発表します。

以上

**株式会社フライトホールディングス**
本社:東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿MFビル3F　　電話:03-3440-6100　　FAX:03-5791-2241
URL ： http://www.flight.co.jp

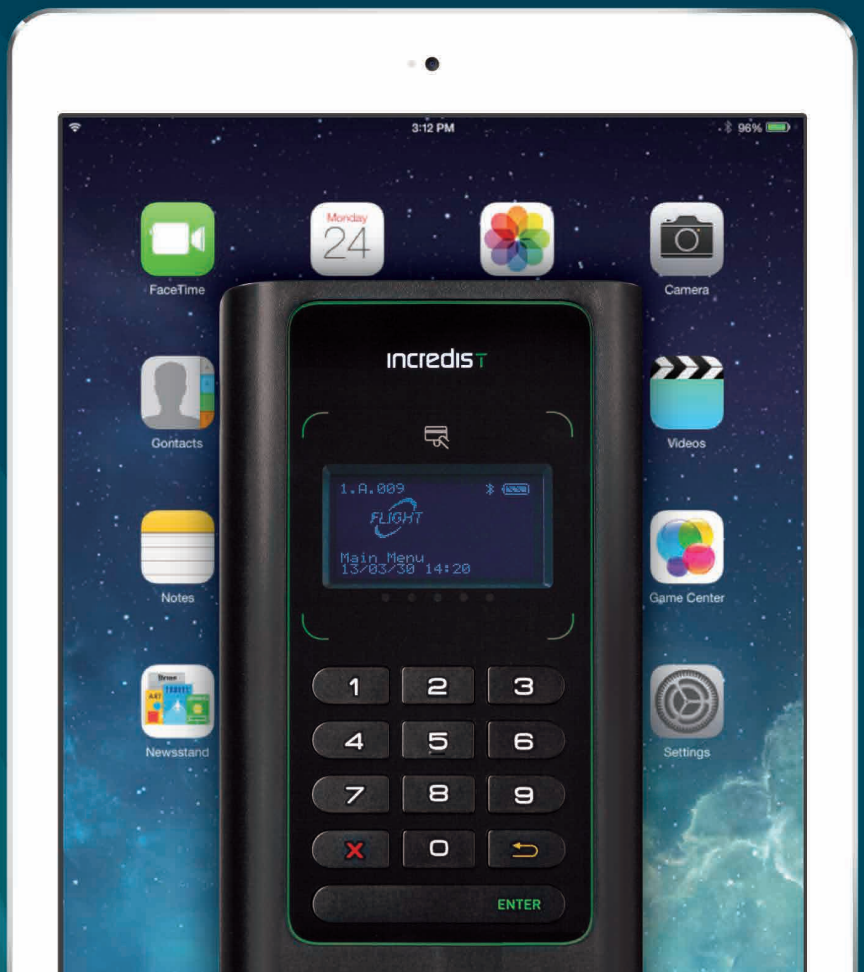
**【 本件に関するお問い合わせ先 】**
担当　：松本、金
電話:03-3440-6100　　FAX:03-5791-2241　　e-mail ： info@flight.co.jp

インクレディスト

# incredisT

導 入 事 例

## ソフトバンクモバイル株式会社




incredisT × SoftBank

# iPadと連携。PCを全廃し店舗業務を改革。

ソフトバンクモバイルは、iPadと多機能モバイル決済端末Incredist（インクレディスト）の2台の端末であらゆる接客業務をこなす新システムiPad版GINIEの大量導入を進めている。店舗を改革する新システム実現の決め手となったのは、同社の要求を完全に満たす唯一の端末であるIncredistだった。

FLIGHT

# iPad + Incredistの2台の端末でパソコンを置き換え

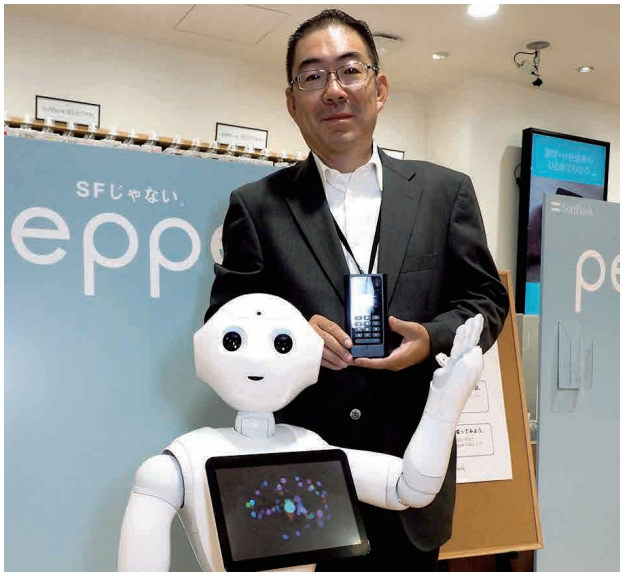
ソフトバンクモバイルは、顧客との直接の接点となるSoftBankショップの改革を進めている。店舗のカウンターに置かれていたパソコンを捨て、iPadと多機能モバイル決済端末Incredistの大量導入を進めているのだ。

同社がそれまで利用していたシステムであるPC版GINIEは、端末としてパソコンに最大11種類もの周辺機器を接続する構成だった。新たに開発したiPad版GINIEは、iPadとIncredistの2台の端末によりあらゆる業務をこなすため大幅にシンプルになった。

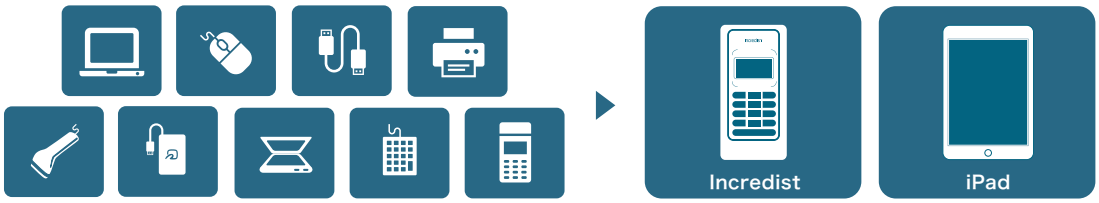
IncredistはiPadの“手足”として働く。クレジットカードの登録、銀行カードによる引き落としの登録、商品のバーコードの読み取り、Tポイントカードの読み取り、携帯電話用のUSIMカードの書き込み、非接触決済技術「FeliCa」を搭載したおサイフケータイの動作チェックと、店舗の業務で要求される多数の機能を1台でカバーする。これだけの多機能を1台に集約したIncredistを採用したことにより、iPadとIncredistの2台があれば「できない業務はない」新システムが完成したのだ。

新システムiPad版GINIEは、単に店舗のパソコンを置き換えただけではない。店舗のワークスタイルを大きく変えた。「パソコンで業務を進めていた時は、同時に接客できる人数がカウンターの数に縛られていた。今は、店舗クルーがiPadとIncredistを持って待っているお客様の所まで出向いていける」（ソフトバンクモバイル 常務執行役員 佐久間好明氏）。

iPadとIncredistは共にバッテリー動作が可能でワイヤレスで連携でき、持ち運びが容易だ。この“新兵器”の導入により店舗クルーの機動力が圧倒的に高まった。接客の自由度が上がり、また接客時間は短縮し、顧客満足度の数字も上昇した。




感情認識機能を持ったロボット“Pepper”と
ソフトバンクモバイル 常務執行役員 佐久間好明氏




**レジ周りに必要だった多くの機器をIncredistとiPadの2台のみでカバー**

# iPadでペーパーレスを実現

iPadは接客用ツールとしても優れていた。複雑な料金プランも、紙のパンフレットではなくiPadの画面を使って説明できる。そのままiPadで契約に移行することもできる。

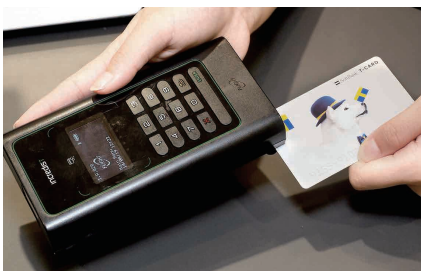
iPad向けのアプリケーション開発では店舗クルーへのヒアリングを繰り返した。現場の接客業務のニーズを満たし、しかも新人クルーでも短期間に習得可能なようにした。「新人クルーが1日目から接客に活用できることが目標だった」（営業推進本部 統括部長 石丸博之氏）。

さらに、顧客が紙の契約書類を望まない場合、iPadだけで契約の全手続きを行えるようにした。例えば、本人確認の書類はiPadのカメラで読み取り、契約内容は顧客のメールアドレスに送信する。

店舗でのiPad活用を見て、iPadへの興味が湧いた顧客も出てきた。新システムは、iPad業務活用のショーケースとしての役割も果たしているのだ。



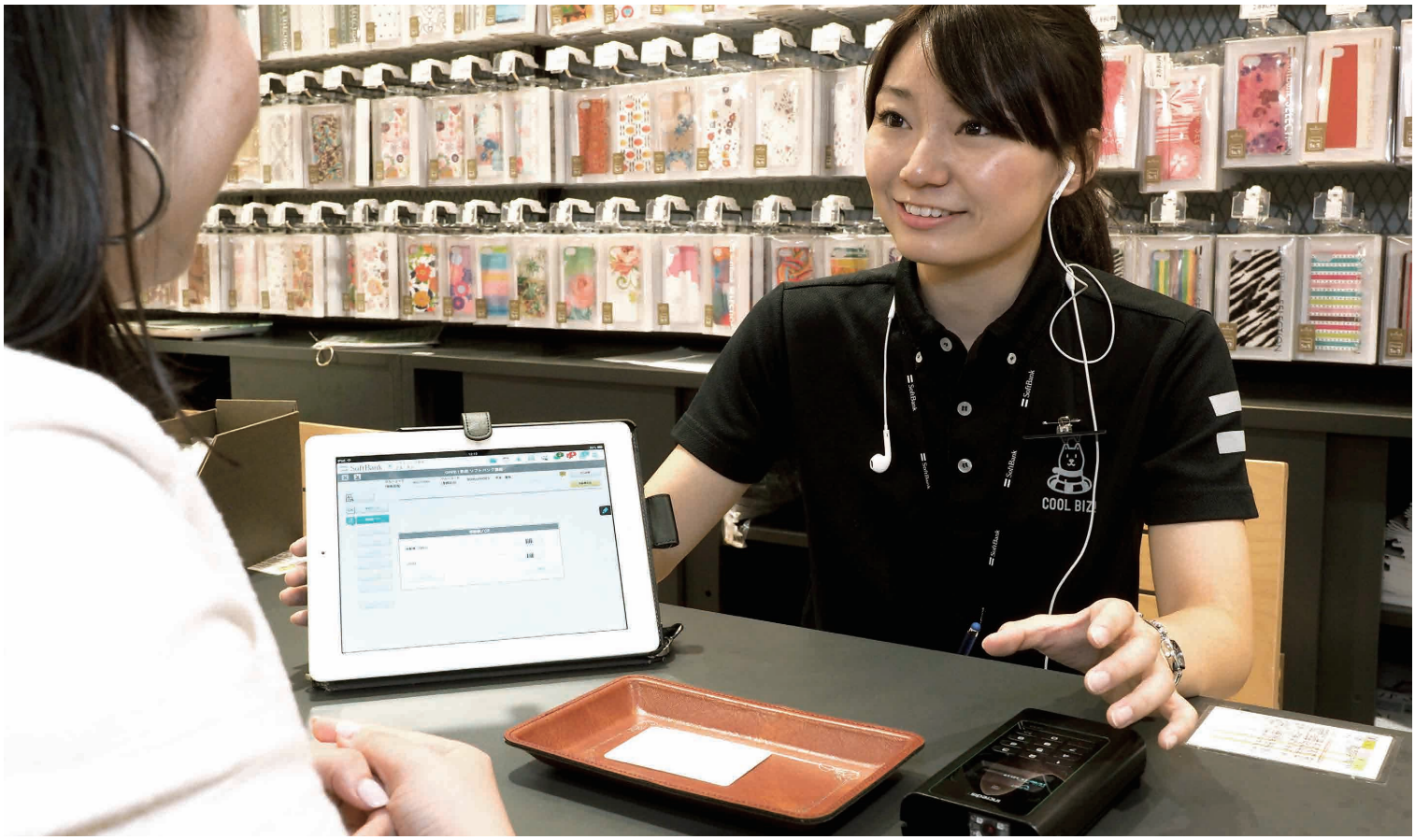
製品のバーコード読取



クレジットカード、銀行カード、
Tポイントカード等の読取



銀行カードではお客様に暗証番号を入力してもらう



ソフトバンク銀座店でのiPad版GINIE接客の様子

## Incredistは要求を満たした唯一の端末

ソフトバンクモバイルがiPad版GINIEを実現させる上で、Incredistの存在が欠かせなかった。Incredistは、磁気ストライプ、接触型ICカード（EMV）、非接触型ICカード（NFC、FeliCa）と多機能なカードリーダとして機能し、2次元バーコードリーダも備える。

銀行カードの読み取りと引き落としの登録に必要なキャッシュカードの暗証番号を暗号化する特殊な仕様も日本デビットカード推進協議会の許諾を得て搭載済みだ。このような多機能な端末は世界的に見ても例がない。特に、日本の銀行カード決済に適用でき、なおかつiPadと連携できる端末は2014年9月時点で同製品だけである。

ソフトバンクモバイルがIncredistの存在を知った2012年の初夏だった。実はこの時点では同製品はまだ開発中の段階だった。同社が開発途上のIncredistに注目した大きな理由として、iPadと連携ができ、バーコードリーダ、クレジットカードリーダ、銀行カードリーダの3機能を提供できる端末がなかなか見つからなかったからだ。

「特に銀行カード対応が難しかった」（情報システム本部 課長 榊原雄二氏）。iPad連携という最新仕様と、銀行のキャッシュカード処理に要求される「堅い」仕様の両方をきちんとサポートできる製品はIncredistをおいてなかった。さらに、このような複数の分野にまたがる技術仕様の議論でも「（開発元の）フライトシステムコンサルティングの説明は首尾一貫していて、ぶれがなかった」（榊原氏）ことも決め手のひとつとなった。

さらに、榊原氏はソフトバンクモバイルが同製品の仕様を調べた結果、「USIMカード書き込みと、おサイフケータイ（FeliCa）のテスト」が可能ではないかということに気がついた。USIMカードはクレジット決済用に搭載された接触型ICカードであるスマートカードの規格に沿っている。また、おサイフケータイが用いるFeliCaチップもIncredistはサポートしていた。開発元のフライトシステムコンサルティングは同社の要求に応じて、USIMカード書き込みやFeliCa確認のための専用ソフトウェアの開発に協力した。こうした工夫と努力により、パソコンを店頭から不要とする新システムが誕生したのだ。

店舗への導入は2013年3月以降、順次導入を進めた。特に2013年9月のiPhone5s/5c発売は、同社のショップが非常に混雑する一大イベントだったが、iPad版GINIEはこの山場を混乱なく乗り越えた。むしろ「接客スピードが早すぎ、『行列が短く商戦が盛り上がっていないように見える』という指摘があった」ほどだった。

ソフトバンクモバイルは、iPadで店舗を改革するという目的を早期に達成するため、開発中だったIncredistとその開発元のフライトシステムコンサルティングに賭けた。その決断のスピード感と思い切りの良さが、今回の新システムを成功に導いたといえるだろう。



# 現場の声

## ソフトバンクモバイル株式会社



ソフトバンクモバイル株式会社
常務執行役員
**佐久間好明氏**

### とにかく接客の時間を短くしたかった

新システム導入の大きな目的は「接客の時間を短くしたかった」ことです。パソコンを使う従来システムでは、カウンターの数でどうしても接客のスピードが制限されていましたが、新システムではiPadとIncredistの2つさえあれば業務を進められる。カウンターを離れて、並んでいるお客様の元に出向くことも可能ですし、家族全員で来訪されたお客様に対して、テーブルを囲んで説明することもできます。iPadの画面で説明することで、料金プランなど短い時間で理解していただけるようになります。新システム導入の後は、顧客満足度も目に見えて向上しました。



ソフトバンクモバイル株式会社
営業推進本部 統括部長
**石丸博之氏**

### 新システムは店舗スタッフのマインドを変えた

iPad版GINIEの全店舗への展開に向けて導入を進めています。新システムは従来のPC版GINIEの全機能をきちんと置き換えることができました。パソコンを置いたカウンターから開放されたことで、店舗クルーのマインドも変わりました。いかにお客様を待たせないようにするか、いかに効率よく業務を進めるかという意識が生まれています。機器がシンプルになったことで機器故障への対応も素早くなり、保守用機器の在庫スペースを減らす効果も得られました。



ソフトバンクモバイル株式会社
情報システム本部 課長
**榊原雄二氏**

### Incredistは私たちの要求を完全に満たしてくれた

新システムiPad版GINIEでは、接客に必要なすべての機能をiPad上で実現することが求められました。その実現のため、iPadと連携できるバーコードリーダ、クレジットカードリーダ、銀行カードリーダの機能を併せ持つ端末が必要だったのですが、探してもなかなか見つかりません。探し回ってようやく見つけたのが、開発段階にあったIncredistです。見つけたその日のうちに開発元と面会して議論をしました。USIMカード書き込みやFeliCaの対応までiPad連携で実現したシステムはおそらく世界初ですが、Incredistは私たちの要求を完全に満たしてくれました。開発元の対応、スピード感も高く評価しています。

ご協力企業プロフィール

SoftBank

**ソフトバンクモバイル株式会社**
主に、移動通信サービスの提供や、携帯端末の販売など、移動通信サービスに関連する事業を展開


Incredistに関する
お問合せはこちらから
**03-5958-7118**
受付時間 9:00～18:00
（土日祝除く）
**株式会社フライトシステムコンサルティング**
東京都渋谷区恵比寿4-6-1 恵比寿MFビル3F



＊iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。 ＊おサイフケータイは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。 ＊FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。
Copyright © 2014 FLIGHT SYSTEM CONSULTING, Inc. All rights reserved.